



10/6 池田裕二氏、無投票で3選

任期満了に伴う標茶町長選挙が9月30日に告示され、現職の池田裕二氏以外に立候補の届け出はなく、無投票での再選が決まりました。10月6日、役場で標茶町選挙管理委員会の藤田榮一委員長から当選証書が付与されました。3期目の任期は、10月22日から平成30年10月21日までとなります。



9/25 濃厚アイスに子どもたち満足

町の牛乳消費拡大事業の一環として、みどり保育園の園児のおやつに標茶高校の生徒が作ったアイスクリームが提供されました。当日は標茶高校の生徒が訪問し、自分たちの作ったアイスクリームを美味しく丁寧に頬張る園児と交流しました。この事業は町内の各小中学校、保育園、幼稚園でも行われました。



10/7 人と牛、環境に優しい牧場を目指して

平成26年度第25回北のくらしセミナー（釧路地域消費者協会協議会主催）がコンベンションホールういすで行われ、中茶安別の酪農家の長坂浩行氏が「循環型・酪農への取組み」と題して講演しました。講演では、長坂牧場が実践している集約放牧や発酵床牛床の取組みなど牛や人、環境に優しい牧場づくりの取組みを紹介しました。講演後は釧路落語めい人会浅野目正義氏がTPP問題や消費者被害等の自治漫談を披露して、来場者を楽しませていました。



10/6 安全・安心なまちづくりを目指すために

町と釧根地区トラック協会川上支部（岡村斉支部長）は「緊急時における輸送業務に関する協定」を結びました。本協定は大規模災害などの緊急時に町災害対策本部と釧根地区トラック協会川上支部が連携し、備蓄品や救助物資、防災資材などの輸送体制を強化する内容です。



10/15 ふるさとの恵みに舌鼓

釧路管内の食材を使った「ふるさと給食」が町内の小中学校で行われ、星空の黒牛を使った「スタミナ牛肉ガーリックライス」や「風のヨーグルト」、標茶町産の大根を使った「大根サラダ」などが提供されました。生徒らは地元産の食材などが使われた給食を美味しく丁寧に頬張っていました。



10/15 湿原保全の取り組みを学びました

JICAのアンザリ湿原環境プロジェクトの一環として、イラン国の2人の研修生らが本町を訪れました。このプロジェクトはアンザリ湿原が、下水・排水や廃棄物の流入などにより環境悪化が進行していることから、釧路湿原の保全の取り組みを研修して、自国で活用することを目的としています。本町では標茶終末処理場など、下水道施設の視察を行いました。



10/14

慰霊法要が行われました

旧北海道集治監釧路分監（標茶集治監）で亡くなった受刑者の慰霊法要が、町社会福祉センターで厳かに執り行われました。



10/13

爽やかな汗を流しました

第37回標茶町ファミリーマラソン大会（町体育協会主催）が標茶町河川敷グラウンドで開催されました。幼児から大人まで約180人が1～5kmのコースを走り、スポーツの秋を楽しみました。

ありがとうございます

9/12

上田組（標津町・上田光夫代表取締役）の皆さんが地域貢献活動として、産業まつり会場の準備と会場全体の転圧作業をしてくださいました。



9/17

釧路市在住の伊在井邦彦さんが、特別養護老人ホームやすらぎ園に、南標茶の自家菜園で収穫した新鮮なジャガイモ、ニンジン、トマトなどの野菜を寄贈してくださいました。寄贈いただいた野菜は給食の食材として活用させていただきました。



10/14

J A し べ ちゃ女性部ダイヤモンドの会（今井昭子会長写真右から

2番目）が役場を訪れ、会員の皆さんが育てた野菜の収穫祭の売上金を寄付してくださいました。今井会長は「今年は立派な野菜が沢山獲れて、収穫祭会場は例年以上の賑わいを見せた」と話されました。



9/27

多田塗装工業（多田征人代表取締役）、黒崎塗装店（黒崎安晴代表取締役）小野寺塗装店（小野寺一史代表取締役）の皆さんが地域貢献活動として、駒ヶ丘公園内のベンチの塗替え作業をしてくださいました。



10/15

明治安田生命釧路支社（妹背俊紀支社長）は町にごみ袋を寄贈して

くださいました。この日は同支社の高橋ゆかりさんが役場を訪れ池田町長にごみ袋が手渡されました。寄贈されたごみ袋は、町内クリーン作戦での清掃活動に活用させていただきました。



9/29

マザープランニング（小野哲朗代表取締役）はグループホーム開設10周年を記念し、標茶児童館に卓球台、ラケット、ボールを寄贈してくださいました。子どもたちは児童館で卓球ができることを楽しみにしています。

